

ぶどうの樹

2018.6
NO. 22



写真：2018年度春季入学式にて、英語同時通訳を務める学生

INDEX

特集 語学力を磨く“GAIDAIスタイル”

- 1: 春季入学式 英語同時通訳の取り組み
- 2: 平昌オリンピック通訳ボランティア

5 チャペル通信

6 新任教員紹介

7 追悼 木本雅康教授

8 四庫全書の寄贈 ほか

9 同窓会だより／保護者会だより

10 2017 (H29) 年度決算報告

語学力を磨く“GAIDAIスタイル”

机に座って単語を覚える。教師の言葉を聴き取り、発音を反復する…。
外国語を体得するためには、日々の地道な学習を積み重ねる以外に近道はありません。

しかし、そうして学んだ外国語の力を社会で役立てていくためには、これを実践の中でアウトプットすることが不可欠です。

一筋縄ではいかない困難なタスクに挑戦し、時にはエラーを犯し、時には仲間とフォローし合い、ともに課題解決を目指していく。

そういった経験を学生のうちから積み重ねていくことで、本学は真に社会に必要とされる「多言語グローバル人材」の育成を目指します。

今号では、こうした“GAIDAIスタイル”の取り組みの一例として、学生の学内外での通訳の取り組みをご紹介します。

特集 1 春季入学式 英語同時通訳の取り組み

2018年4月3日（火）、とぎつカナリーホールにて2018年度春季入学式が行われ、華やかな雰囲気の中、長崎外大に新たに新生が仲間入りしました。

その式典の舞台袖で、本学学生が同時通訳をしています。

実は、長崎外大では入学式や短期留学プログラムの修了式などの様々な場面で、学生が司会進行や学長スピーチなどを英語で同時通訳しています。このような機会を通して、日頃の勉強の成果を生かすだけでなく、教室だけでは経験できない様々なことを実践を通して学んでいます。

今回、2018年度入学式の同時通訳を担当したのは、現代英語学科4年生の照喜名早希さん、後藤里佳子さん、現代英語学科3年生の前田一平さん、中村麗菜さん、照屋優奈さんの5人で、いずれも現代英語学科の精鋭たちです。

同時通訳と聞くと華やかなイメージを持つ人もいるかもしれませんが、実際は本番までに担当教員による厳しいチェックや、繰り返されるリハーサルを経なければいけません。日本語がそうであるように、英語にも式典でよく使われる、式典にふさわしい表現があります。式典にふさわしい英語表現を使っているか、発音は明確か、教員にチェックされたり、学生同士で確認し合ったりと、最後の最後まで細かいチェックが続きます。

普段は本学4階ホール内にある同時通訳ブースを使用しますが、今回はカナリー



ホールでの式典だったため、日曜日返上で、カナリーホールへの機材搬入にお邪魔しながらリハーサルを行いました。音響の状態に合わせて発音をチェックしたり、声の大きさを調整したり（大きすぎると声が反響し客席まで同時通訳の声が聞こえてしまうため）、普通のホールとは異なる環境なので、特に慎重に調整を行いました。

しかし、どれだけ調整・練習をしても、当日には想定外のことが起こるものです。

今回も、司会進行の小西宗教主任が話すスピードから遅れてしまったり、石川学長のアドリブの利いたスピーチに四苦八苦したりと、緊張しながら、そして時々冷や汗をかきながら、同時通訳を行いました。



裏方の仕事になるので決して目立つことはありませんが、教室では味わえない緊張感や大学の行事に参加しているという充実感、また、終わった後の達成感は何ものにも代えることはできません。

このようなトレーニングをすることは、技能を身につけるだけでなく、英語を使う際のひらめきや、ある種の瞬間的な判断力も身につけることができると思っています。

また、外大には通訳の授業とは別に翻訳の授業もあるので、通訳で瞬時に英語が出てくるようになるトレーニングを行うと同時に、翻訳の授業でじっくり考え、言葉を選ぶトレーニングを行うことで、ただペラペラと喋るだけではない、しっかりとした「語感」に基づく英語力を身につけることができるのだと思います。

同時通訳に参加する学生の理由は様々です。本学の通訳の授業を受講し、実践したいと思った学生や、留学で身につけた英語力を維持するために参加する学生、また、英語力に自信があるので力試しに参加する学生もいます。

理由は様々ですが、英語力を身につけたい、また、英語を今以上に上達させたいという気持ちは、参加する学生全員に共通するものです。

「英語は大切と言われても、具体的にどうすればよいのかわからない」、「実践的な英語を身につけたいが、何をどう勉強すればよいのかわからない」、「英語は好きだけど、それをどのように生かしたらよいのかわからない」…。そんな疑問に答えるために、外大には英語を使う場面が数多く用意されています。カンパセーションパートナーや、大勢のネイティブ



スピーカーの先生による授業だけでなく、同時通訳や様々なイベントの通訳まで、英語を使う多くのシーンで外大生は活躍しています。このような実践的なトレーニングをたくさんの学生に経験してもらい、外大生にふさわしい英語力を身につけてもらいたいと思っています。

みなさんも式典に出席された際には、ぜひ同時通訳を聞いてみてください。レシーバーを舞台上の同時通訳の機械に向けて、いつでも彼らの英語を聞くことができます。

平昌オリンピック通訳ボランティア

本学を含む国内7つの外国語大学で構成される全国外大連合では、この冬に行われた平昌冬季オリンピックに学生通訳ボランティアを派遣しました。

全国外大連合の国際的なスポーツイベントへの支援は、2017年2月に開催された札幌冬季アジア大会に続いて2回目となります。

今回は本学からも4名の学生が参加しました。ここでは、その中で国際コミュニケーション学科韓国語専修3年で社会人学生の吉田治志さんからお話をうかがいました。

平昌五輪活動記

国際コミュニケーション学科
韓国語専修3年

よしだ はるし
吉田 治志



まず直前の試験期間調整などにご配慮・ご協力を頂いた教職員の皆様に、五輪の大舞台を肌で経験できたことへの感謝の気持ちでいっぱいです。慌ただしい渡航でしたが、類を見ない熱気、緊張感に満ちた大会で、IOC会長、平昌組織委員長名の参加証も拝受できました。

今大会の主なボランティア任務は韓国人スタッフに混じっての観客誘導でした。打ち合わせはほとんど韓国語で行われ、一部韓国語専修生が他言語の学生に内容を通訳したこと、急な予定変更、シャワー設備の不調、インフルエンザ流行など厳しい体験もありました。

しかし、韓国の方々の親切さのおかげで、良い思い出のほうがはるかに多かったです。物品調達、交通手段の情報提供などで大変お世話になりました。また外大連合学生や韓国人スタッフとの間でLINE、Kakao Talkを活用した国内外の友人ネットが広がったのは大きな収穫でした。帰国後もメッセージのやり取りは続いています。

今後、東京、北京と近隣で連続して開催される五輪は外大生が世界に羽ばたく“ビッグチャンス”です。旅費・渡航費用などわずかでも補助があれば、ボランティア活動への参加に強い追い風になるので、大学関係者、父母会の皆様の御理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



チャペルアワーがリニューアル！

2018年度から学校礼拝「チャペルアワー」が新しくなりました。今までのチャペルアワーから変わったところを三つご紹介します。

1. 礼拝の時間帯

まず礼拝の時間帯が変わりました。これまでは水曜日のランチタイム内での開催（午後12時40分から1時までの20分間）でしたが、今年度からは水曜日2時限目（前半：10時40分から11時25分までの45分間）となりました。これにより、チャペルアワーがある水曜日には昼食を急いで済ませて礼拝に駆けつけなければならないという不便さが解消され、参加者はゆとりを持ってホールに集うことができるようになりました。また、学生がチャペルアワーにより参加しやすいうように、この時間帯はチャペルアワー専用、つまり通常の授業が一切行われない時間帯になりました。

それにともない、チャペルアワー後の時間、つまり水曜日2時限目の後半（11時25分から12時10分まで）は「外大アワー」と銘打ち、学生のためのさまざまなイベントや学生の指導に活用されることになりました。

2. 礼拝の内容

チャペルアワーの時間が20分から45分に拡大されたこととともなって、礼拝の内容も賛美歌の強化を中心として充実しました。

まず礼拝の最初と最後に、ゴスペルクワイヤによる「賛美」が新たに歌われるようになりました。これは今年新しくできた学生ゴスペルサークル「NUFSゴスペル」が担当しています（写真1）。



写真1

また、礼拝中に歌う賛美歌が1曲から2曲に増えました。うち1曲は本学の建学の精神を表している411番「せかいの友と」で、毎回の礼拝の初めに歌われます。もう一曲は、その日の奨励（お話）のテーマに合わせて選ばれ、奨励の後に歌われます。

さらに昨年度までは時間的制約から、長い曲では賛美歌の歌詞を一部省略せざるを得ないケースもあったのですが、今年度からは歌詞をすべて歌うことができるようになりました。

また、昨年度まで約10～13分だった奨励の時間が今年度は15～20分と、学校礼拝として理想的な時間になったことも、礼拝時間の延長にともなうメリットの一つです。

3. 式文・典礼色

礼拝中に唱えられる「主の祈り」が刷新され、新たに典礼色が導入されました。

チャペルアワーでの「主の祈り」は、プロテスタント教会で広く用いられてきた「1880年訳」と呼ばれる古い祈禱文が用いられていました。しかし、「天にまします我らの父よ…」というその古風な日本語が難しいという声が留学生から上がったことや、昨今カトリック教会との教派間協力がますます加速していることなどから、プロテスタントの日本聖公会とカトリック教会が共同で用いている「天におられるわたしたちの父よ…」という新しい祈禱文に切り替えました。



写真2

また、礼拝の中で教会暦を明確にするために、典礼色が導入されました。具体的には、講壇掛けおよび説教題などを映し出すステージ上のモニターの背景色が期節・祝祭日に合わせた色（赤・白・紫・緑）になります（写真2）。

これらの変更は、チャペルアワーをより充実させ、本学の建学の精神をより確かなものにしたいとの思いで、1年以上の準備期間を経てなされたものですが、奇しくも昨年（2017年）の「宗教改革500周年」を機に世界中でプロテスタント教会とカトリック教会との協同の機運が高まっていることが追い風になりました。

チャペルアワーは建学の精神を確認する大切な時間です。また、信者・未信者にかかわらず、すべての学生・教職員に開かれています。新しくなったチャペルアワーに是非お越しください。

ちなみに「NUFSゴスペル」はメンバー募集中です。興味がある方は310研究室（キム ユンソン金有善先生）まで。

（学院宗教主任 小西哲郎）

よろしくお祈いします！ —2018年度新任教員紹介—



なかはら さとこ
中原 郷子

国際コミュニケーション学科/講師

4月から日本語教員を目指す人のための概論などと、留学生の日本語科目を担当しています。こちらへ来る前は国内外の大学、短大、日本語学校などで日本語を教えていました。長崎には小学校の修学旅行で来て以来、しばらく足を踏み入れていませんでしたが、ここ数年、毎年夏に高島という島に来ていて、ご縁を感じております。専門は日本語教育学で、手話を勉強したことをきっかけに、動作を使った日本語学習の研究を始めました。大学生の頃から日本語教員になるための勉強をしていたので、この度、同じ夢を志す学生さんのお手伝いできて、大変嬉しく思うと同時に身が引き締まる思いです。まだまだ不慣れな部分もありますが、自分が「おもしろい！」と思ったことを、授業でわかりやすく紹介できるように精進したいと思います。どうぞよろしくお祈いいたします。



むらかみ ひろあき
村上 浩明

国際コミュニケーション学科/講師

4月から主にドイツ語の授業を担当しています。専門は近代ドイツ文学。特にフランツ・カフカ（1883-1924）の作品を研究しています。カフカの文学を原文で読みたいと思って始めたドイツ語ですが、研修旅行や留学でドイツへ行って以来、その言葉の響きやドイツ語圏の文化全般に魅了されました。そんなドイツ語の魅力を、授業を通して皆さんにお伝えできればと思っています。

私は福岡県北九州市出身で、留学先がミュンヘンであったことを除けば、福岡県以外の場所で暮らしたことがありません。長崎に住んで1か月ほど経ちますが、開放的で異国情緒あふれるこの街の雰囲気がとても気に入りました。この街でのこれからの生活がとても楽しみです、散策したり、人々と交流したりする中で長崎のことをもっと知っていこうと思います。皆さん気軽に声をかけてください。どうぞよろしくお祈いいたします。

追悼 木本 雅康 教授

2018年1月24日、
外国語学部 国際コミュニケーション学科
木本 雅康(きもと まさやす、54歳)教授が
永眠されました。



【故人略歴】

1986年 3月	國學院大學文学部史学科卒業
1990年 3月	國學院大學大学院文学研究科博士課程前期修了
1993年 3月	國學院大學大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学
1994年 4月	長崎外国語短期大学 講師
1997年10月	長崎外国語短期大学 助教授
2001年 4月	長崎外国語大学 助教授
2005年10月	長崎外国語大学 教授



1月29日、卒業生や生前のご友人など多くの方のご列席を賜り、追悼礼拝を執り行いました。



また、逝去をうけて急遽、先生の研究室前に設けられた献花台には、在学生や卒業生から毎日のように献花とお供え物が絶えませんでした。

式辞 学長 石川昭仁

お正月の喧騒も過ぎ、北風が身に染みる1月24日未明、私たち教職員、学生の誰もが敬愛する木本雅康先生が忽然としてこの世を去られ、天に召されました。54歳でした。

木本先生は、すい臓がんのため、2016年度を通して大学をお休みにになり治療に専念されていましたが、2017年4月から元気なお姿で大学の仕事に復帰されていました。治療を続けながらも、「歴史学」、「地理学」、「日本文学」、「比較社会文化研究」と幅広い分野の科目を担当してくださっており、時間があればコーヒーを入れた紙コップを片手に学生と楽しそうに立ち話をされている姿をキャンパスで度々お見掛けしていました。学生からも大変慕われている方で、訃報に接した卒業生からは多数のメッセージが届いております。

先生の研究分野は、歴史地理学です。8世紀古代律令国家が建設した全国各地の道路の遺構を発掘調査し、その成果を検討して、地理学の視点からその意味を探るという大変ロマンあふれるもので、毎年全国の地方自治体の依頼を受け、多数の遺跡発掘の調査と指導にあたられました。また長崎では、宮沢賢治の作品を読む「グループ銀河鉄道」の活動にも熱心でした。

昨年の外語祭でお見掛けした木本先生のお姿が甦ります。いつものように紙コップを片手に、何を見てもなく笑みを浮かべて、長いあいだ模擬店の傍に一人佇んでおられました。過ぎし日のキャンパスでの思い出に浸っておられたのか、それとも、古代国家のロマンの世界に思いを馳せられていたのでしょうか。

木本雅康先生がこの世を去られました。今頃は、きっと孤独な少年ジョバンニと共に銀河鉄道に乗って、広大無辺の宇宙を駆け抜け天に昇っておられることと思います。木本先生、本当に長い間お世話になりました。私たち一人一人を、長崎外大を支えてくださりありがとうございました。これからも私たちの長崎外大を見守っててください。(抜粋要約)

弔辞 外国語学部長 小鳥居伸介

長い闘病の末にあの世へと旅立たれたあなたの魂が深い安息の中に安らげられますように、心よりお祈り申し上げます。

木本先生との初めての出会いは、1993年の秋、先生の採用面接の時でした。その時の印象は、「若さの割にはとても落ち着いた方だなあ」というものでした。何を訊ねられても明確に答えられる幅広い学識と知性に、敬意を抱くとともに深い感銘を受けました。

短大時代には授業の他に様々な行事で協働いたしましたが、毎年秋に開催されていた伊王島研修は懐かしい思い出です。学生たちの研究発表をシンポジウムの形式で行い、私も先生と一緒に発表者の学生たちの指導に当たりました。学生たちも寝静まった深夜、同室の先生方とともに早朝まで大学のこと、教育のことなど、あれこれと語り明かしたこともありました。

木本先生は人との交わりをととても大切にされる方でした。毎年の外語祭には必ず来られて、学生たちの模擬店をすべて回り、殆ど全ての店のものを召し上がっておられました。また、普段の空き時間も、よく学内のあちこちを歩きながら、学生や教員、職員と親しくお話をなさっておられました。

先生と一緒に過ごした最後の思い出は、昨年秋の外語祭でした。闘病生活が続き、体調が悪い中でも先生は外語祭に出てこられて、学生や教職員の皆さんと親しく交わられていました。私もこれが一緒できる最後とは思いません、一緒にコーヒーを飲みながら、しばし安らいだ一時を過ごしました。

こうして木本先生と過ごした時間を振り返ると、いつも微笑みを絶やさず人と交わりながら、おだやかに生き、ご病気になるけれども最後まであきらめずに勇気をもって向き合い続けられたそのご意志の強さに敬意と哀惜の念を禁じえません。

あなたの魂が愛と慈しみに満ちた光の中にいつもあずかることができますように、お祈り申し上げます。(抜粋要約)

謹んで故人のご冥福をお祈りいたします。

四庫全書1500冊をご寄贈いただきました

四庫全書とは、中国・清朝の乾隆帝（1736年～1795年在位）の勅命により編纂され、乾隆46年（1781年）に完成した叢書で、その当時の権威ある書籍を網羅的に集め書写したものです。全書は経（儒家の經典）・史（歴史書）・子（その他の学問）・集（詩文集等）の四部に分類され、四つの書庫に収蔵されたため「四庫」と呼ばれています。

集められた書籍は全部で3400点余、叢書としては中国史上最大の規模です。叢書として集積された後、戦火や天災等による滅失を防ぐため、副本が筆写され、北京地区に四セット、江南地区（鎮江・揚州・杭州）に三セットが備えられ、そのうちの一部は戦火で焼失しましたが、1980年代に文淵閣（北京）のものが台湾商務印書館によって影印出版されるに至りました。更にそれを承けて上海古籍出版社が縮小影印した1500冊及び目録索引1冊の計1501冊を、中国文学の研究者より本学マルチメディアライブラリーにご寄贈いただきました。

この叢書の価値は、まず、「欽定による選定」という点にあり、「権威ある書籍を集めた」という選定眼に大きな価値があると認められます。また、稀覯本を拾っているという点も挙げられ、勅命による収集であるため、天下に一つしかない本も対象とすることが可能となったようです。更に、当時の学術水準の高みを反映していることも価値として認められるものです。

現存するもののうち、文淵閣本は、台北市の國立故宮博物院に収蔵されており、平成26年に九州国立博物館及び東京国立博物館で開催された、「台北國立故宮博物院 神品至宝」特別展において、日本で初めて披露されました。

本学ライブラリーで、この四庫全書の影印本を活用できることとなりました。



教育研究の整備に関わる寄付事業のお礼と報告

平成27年4月から開始いたしました「教育研究の整備に関わる寄付事業」は平成29年度末現在で18,725,870円（平成29年11月1日～平成30年3月31日:37件、792,870円）のご寄付を賜り、ご支援をいただきました同窓会、保護者会、取引先、在学生保護者を始めとした多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

寄付者ご芳名一覧 平成29年11月～平成30年3月ご寄付分 たくさんの温かいご支援ありがとうございました

個人の一部

朝久野 美智子	井上 優子	喜多村 隆昭	筒井 久恵	羽仁 秀幸	森 隆子
安藤 伸吉	大路 礼子	木本 邦子	中尾 啓一	東 正信	森谷 和一郎
池部 むつみ	小川 守	田中 秀志	名村 真理子	藤河 摩知子	
石井 眞紀子	川崎 律子	田端 安範	西倉 雅宏	松田 明大	

法人の一部

京セラコミュニケーションシステム株式会社
DEITz株式会社
有限会社 富士自動車

新長崎学研究に関わる寄付事業のお礼と報告

平成28年4月から開始いたしました「新長崎学研究に関わる寄付事業」は平成29年度末現在で9,149,000円（平成29年11月1日～平成30年3月31日:10件、5,600,000円）のご寄付を賜り、ご支援をいただきました多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

寄付者ご芳名一覧 平成29年11月～平成30年3月ご寄付分 たくさんの温かいご支援ありがとうございました

個人の一部

平野 大壽 粟屋 曠 満田 勉 岩永 八洲夫

法人の一部

株式会社 メモリード 株式会社 チョープロ

寄付に係る税金（所得税・住民税）の優遇制度について

寄付をされると次の要領で税金が戻ってきます。詳しくは、法人事務局財務課までお問い合わせください。

ご寄付のお申し込みについて

お電話またはメールで、ご住所、お名前をお知らせください。法人事務局よりご説明および必要書類をお送りいたします。

お問い合わせ先

学校法人長崎学院 長崎外国語大学 法人事務局 財務課（担当：北国）
Tel：095-840-2003（法人財務課直通） Email：keiri@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

2018年第4回関東地区支部同窓会のご案内

2018年第4回関東地区支部同窓会のご案内

10月14日(日)、中国薬膳料理 星福で開催します！

※2018年第4回関東地区支部同窓会は次の日程で開催します。
皆様のご参加をこころからお待ちいたしております。

1. 日 時： 2018年10月14日(日) 12時～14時
2. 会 場： 中国薬膳料理 星福
中央区銀座6-9-9かねまつビル6F
☎050-5872-2123
3. 昼食費： 4,000円
4. 年会費： 2,000円(関東地区支部以外の方は不要です。)

- 申込は葉書で10月5日(金)迄に！
〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-10-11-201
小嶋喜久代宛
- メールによる受付：
email : ka.na.gaigodousokai@gmail.com
企 画： 幹事一同

第3回関東地区支部同窓会は2017年10月8日東京会館銀座スカイラウンジで開催しました。参加者15名でしたが、年代も幅広く楽しいひとときを過ごしました。



関東地区支部同窓会支部長 平木 輝生

● 保護者会だより ●

新緑のキャンパスに、汗と笑顔が弾けました！

—2018年度スポーツ大会—



長崎外大保護者会では、学生の皆さんのキャンパスライフ充実のために、各種学内行事の支援を行っています。

5月23日(水)、大学体育館で2018年度のスポーツ大会が行われ、全24チーム144人が、バレーボールやバドミントン等の競技で“外大No.1”を競い合いました。出場チームのうち9チームが留学生チーム、もしくは日本人学生と留学生の混成チームです。試合会場のあちこちから外国語の歓声や応援の声が聞こえてきて、さすがは「キャンパスが世界！」の長崎外大だなと感じました。お昼休みには学生食堂に移動し、保護者会からの支援費で購入したお弁当が出場者たちに配布され、あちこちで出場者間の親睦の輪が広がっていました。出場者の皆さん、大会の運営に携わった学友会執行委員の皆さん、お疲れ様でした！



長崎外大保護者会では今後も大学や学友会と連携しながら、学生さんが「外大に通ってよかった」と思える4年間になるよう、惜しみない支援を続けていきたいと思えます。

保護者会理事(広報担当)服部まゆみ



学校法人長崎学院 2017(平成29) 年度決算報告

現在、学校法人長崎学院長崎外国語大学は「長崎外大ビジョン21」に沿って財務基盤の確立および財務体質の強化に努めています。大学収入の源泉は「授業料等」、「補助金」、「寄付金」、「その他」の4つに大別されますが、その中でも「授業料等」は2017年度事業活動収入計のうち59.6%を占めています。2017(平成29)年5月1日付の学生総在籍数は745名(前年度比65名増、収容定員充足率100.7%)となり、収容定員740名を充足することができました。その結果、学生生徒等納付金収入は前年度決算比で3,572万円の増収となりました。

「補助金」においては、私立大学等改革総合支援事業(「タイプ5:プラットフォーム形成」を含む)や私立大学等教育研究活性化設備整備事業および私立大学等経営強化集中支援事業の採択により、予算比で6,180万円、前年度決算比で4,887万円の増収となりました。

これらにより、事業活動収支においては事業活動収入計が13億6,590万円となり、予算比で4,078万円、前年度決算比で1億82万円の増収となっています。一方支出については、事業活動支出計が12億2,993万円となり、予算比で3,260万円、前年度決算比で6,152万円の支出増となりました。

上記の結果、2017(平成29)年度決算では事業活動収支が1億3,596万円のプラスとなり、予算比7,338万円、前年度決算比3,930万円の大幅な増収を実現することができました。

資金収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

〔収入の部〕 (単位:円)				〔支出の部〕 (単位:円)			
科目	平成29年度予算	平成29年度決算	差異	科目	平成29年度予算	平成29年度決算	差異
学生生徒等納付金収入	821,826,000	813,393,750	▲ 8,432,250	人件費支出	603,991,000	592,973,237	▲ 11,017,763
手数料収入	6,988,000	8,333,760	1,345,760	教育研究経費支出	290,344,960	266,538,330	▲ 23,806,630
寄付金収入	16,100,000	8,493,870	▲ 7,606,130	管理経費支出	181,170,000	177,025,158	▲ 4,144,842
補助金収入	247,936,000	309,733,026	61,797,026	借入金等利息支出	45,006,000	44,427,009	▲ 578,991
資産売却収入	0	0	0	借入金等返済支出	285,449,000	284,700,463	▲ 748,537
付随事業・収益事業収	195,674,000	188,035,348	▲ 7,638,652	施設関係支出	18,745,000	31,624,938	12,879,938
受取利息・配当金収入	35,000	32,952	▲ 2,048	設備関係支出	22,198,000	35,681,319	13,483,319
雑収入	35,555,000	32,117,479	▲ 3,437,521	資産運用支出	0	0	0
借入金等収入	160,000,000	160,000,000	0	その他の支出	36,925,435	39,528,417	2,602,982
前受金収入	271,765,000	271,962,373	197,373	[予備費]	10,000,000	—	▲ 10,000,000
その他の収入	21,898,667	28,424,366	6,525,699	資金支出調整勘定	▲ 32,298,937	▲ 33,585,347	▲ 1,286,410
資金収入調整勘定	▲ 310,914,748	▲ 311,377,952	▲ 463,204	翌年度繰越支払資金	227,846,776	292,749,763	64,902,987
前年度繰越支払資金	222,514,315	222,514,315	0	支出の部合計	1,689,377,234	1,731,663,287	42,286,053
収入の部合計	1,689,377,234	1,731,663,287	42,286,053				

活動区分資金収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)				(注記)				
				活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。				
				(単位:円)				
項目	収入	支出	差引	資金収支計算書計上額	教育活動による資金収支	施設整備等活動による資金収支	その他の活動による資金収支	
教育活動による資金収支	1,334,744,897	1,035,275,916	299,468,981	271,962,373	271,962,373	—	—	
			▲ 16,170,464	21,349,713	9,625,582	11,724,000	131	
			283,298,517	▲ 42,345,704	▲ 25,586,704	▲ 16,759,000	—	
施設整備等活動による資金収支	23,757,870	67,306,257	▲ 43,548,387	▲ 269,032,248	▲ 269,032,248	—	—	
			▲ 4,700,226	▲ 18,065,866	▲ 13,030,997	▲ 5,035,000	131	
			▲ 48,248,613	▲ 31,330,312	26,240,939	5,089,373	—	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	235,049,904			5,132,775	5,059,728	—	73,047	
その他の活動による資金収支	168,712,071	333,453,611	▲ 164,741,540	▲ 3,905,937	▲ 3,905,937	—	—	
			▲ 72,916	▲ 29,679,410	▲ 24,255,263	▲ 5,424,147	—	
			▲ 164,814,456	支出計	2,877,740	3,139,467	▲ 334,774	73,047
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	70,235,448			収入計-支出計	▲ 20,943,606	▲ 16,170,464	▲ 4,700,226	▲ 72,916
前年度繰越支払資金	222,514,315							
翌年度繰越支払資金	292,749,763							

事業活動収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科目		平成29年度予算	平成29年度決算	差異
教育活動収支	事業活動収入			
	学生生徒等納付金	821,826,000	813,393,750	▲ 8,432,250
	手数料	6,988,000	8,333,760	1,345,760
	寄付金	6,000,000	2,612,260	▲ 3,387,740
	経常費等補助金	247,936,000	292,974,026	45,038,026
	付随事業収入	195,674,000	188,035,348	▲ 7,638,652
	雑収入	35,555,000	30,513,013	▲ 5,041,987
	① 教育活動収入計	1,313,979,000	1,335,862,157	21,883,157
	事業活動支出			
	人件費	603,991,000	590,200,627	▲ 13,790,373
教育研究経費 (減価償却額)	363,903,960 (73,559,000)	342,250,952 (74,595,362)	▲ 21,653,008 (1,036,362)	
管理経費 (減価償却額)	237,633,000 (56,463,000)	231,609,590 (55,845,241)	▲ 6,023,410 (▲ 617,759)	
徴収不能額等	0	548,954	548,954	
② 教育活動支出計	1,205,527,960	1,164,610,123	▲ 40,917,837	
③ 教育活動収支差額	108,451,040	171,252,034	62,800,994	

科目		平成29年度予算	平成29年度決算	差異
教育活動外収支	収入			
	受取利息・配当金	35,000	32,952	▲ 2,048
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	④ 教育活動外収入計	35,000	32,952	▲ 2,048
	支出			
	借入金等利息	45,006,000	44,427,009	▲ 578,991
	その他の教育活動外支出	0	0	0
⑤ 教育活動外支出計	45,006,000	44,427,009	▲ 578,991	
⑥ 教育活動外収支差額	▲ 44,971,000	▲ 44,394,057	576,943	
⑦ 経常収支差額	63,480,040	126,857,977	63,377,937	

科目		平成29年度予算	平成29年度決算	差異
特別収支	収入			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	11,100,000	30,002,167	18,902,167
	⑧ 特別収入計	11,100,000	30,002,167	18,902,167
	支出			
	資産処分差額	2,000,000	17,485,608	15,485,608
	その他の特別支出	0	3,411,481	3,411,481
	⑨ 特別支出計	2,000,000	20,897,089	18,897,089
	⑩ 特別収支差額	9,100,000	9,105,078	5,078
	⑪ 予備費	10,000,000	0	▲ 10,000,000
	⑫ 基本金組入前当年度収支差額	62,580,040	135,963,055	73,383,015
	⑬ 基本金組入額合計	▲ 130,267,119	0	130,267,119
	⑭ 当年度収支差額	▲ 67,687,079	135,963,055	203,650,134
	⑮ 前年度繰越収支差額	▲ 3,058,311,924	▲ 3,058,311,924	0
	⑯ 基本金取崩額	0	797,849	797,849
	⑰ 翌年度繰越収支差額	▲ 3,125,999,003	▲ 2,921,551,020	204,447,983

(参考)

⑱ 事業活動収入計	1,325,114,000	1,365,897,276	40,783,276
⑲ 事業活動支出計	1,262,533,960	1,229,934,221	▲ 32,599,739

貸借対照表

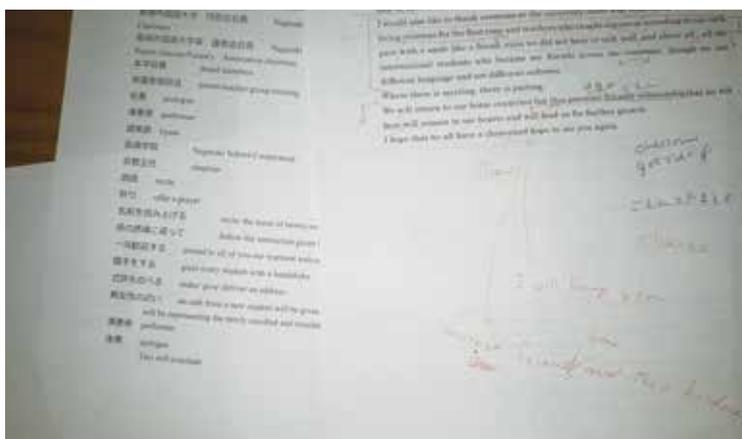
平成30年3月31日

(単位：円)

(単位：円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	5,631,334,015	5,708,090,168	▲ 76,756,153
有形固定資産	5,613,846,526	5,691,879,862	▲ 78,033,336
特定資産	10,000,000	10,000,000	0
その他の固定資産	7,487,489	6,210,306	1,277,183
流動資産	340,574,796	248,625,764	91,949,032
資産の部合計	5,971,908,811	5,956,715,932	15,192,879
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,551,430,374	1,710,270,131	▲ 158,839,757
流動負債	570,572,421	532,502,840	38,069,581
負債の部合計	2,122,002,795	2,242,772,971	▲ 120,770,176

純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	6,771,457,036	6,772,254,885	▲ 797,849
第1号基本金	6,692,457,036	6,693,254,885	▲ 797,849
第4号基本金	79,000,000	79,000,000	0
繰越収支差額	▲ 2,921,551,020	▲ 3,058,311,924	136,760,904
翌年度繰越収支差額	▲ 2,921,551,020	▲ 3,058,311,924	136,760,904
純資産の部合計	3,849,906,016	3,713,942,961	135,963,055
負債及び純資産の部合計	5,971,908,811	5,956,715,932	15,192,879



学生の同時通訳の際に使用されている手元原稿。
1秒を争う現場の緊張感が伝わってくるようです。
同時通訳と言えば、聞き取った日本語を瞬時に
英語へ通訳する「超人技」のようなイメージですが、
事前の徹底した準備と、学生たちの血の滲むような
努力の賜物なのだと、改めて痛感しました。(HL)

長崎外大 2018年度 年間スケジュール

今年も本学では以下のイベントを予定しています。

春	4月3日	2018年度春季入学式
	4月6～7日	新入生雲仙一泊研修
	5月20日	長崎外国語大学保護者会 定期総会
	5月23日	スポーツ大会
夏	7月17日	留学許可書授与式
	7月21日	オープンキャンパス
	8月5日	オープンキャンパス
	8月6日～9月27日	夏季休暇(夏休み)
秋	8月18日	オープンキャンパス
	9月20日	2018年度秋季 入学式
	9月20日	就活キックオフ集会
	9月21日	2018年度秋季 卒業式
	10月7日	インターナショナル・デイ(長崎くんち体験)
	10月7日・14日	長崎外国語大学 地区別保護者懇談会(福岡・長崎)
冬	11月3日・4日	第68回外語祭
	11月28日	創立73周年記念式典・記念礼拝
	12月19日	全学クリスマス礼拝
	12月20日	長崎外大スピーチ大会
	2月12日～3月31日	春季休暇(春休み)
	3月9日	保護者対象 留学事前説明会
	3月15日	2018年度春季 卒業式

※既に実施済のものを含みます。予定は諸事情により変更されることがあります。